

# 東京兵庫県人会「ふるさとツアー」旅行記

## ●新幹線新神戸駅に集合

平成27年度「ふるさとツアー旅行会」は春爛漫の季節4月18日(土)・19日(日)一泊二日の日程で実施された。当日は快晴で、菅谷会長・太田幹事長をはじめ総勢14名が午前10時30分新神戸駅迎いのバスで、最初の訪問地「神戸酒心館」に向けてスタートする。

## ●神戸酒心館

江戸中期、宝暦元年(1751年)創業の清酒「福寿」の醸造元で、到着後早速に大吟醸・純米吟醸等他種類のお酒を薦められ試飲を行う。特に興味をもったお酒は山中教授のノーベル生理学・医学賞受賞パーティーに使用された、ブルー色瓶純米吟醸酒でそれが一番人気との事でした。

## ●舞子公園

明治33年(1900年)初の県立都市公園として開園、今では世界一の吊り橋(明石海峡大橋)を眼下に見下ろせる「シーサイドホテル舞子ビラ神戸」にて、昼食(たこ飯松花弁当)をいただく。昼食後、当ホテルの最上階展望台より、淡路島・明石海峡大橋等素晴らしい景色が拝見できました。

その後、舞子公園管理事務所所長の案内にて、橋の科学館(世界最高水準の架橋技術の説明)・孫文記念館(日本で唯一の顕彰する博物館)・旧武藤山治邸(明治期木造2階建てのコロニアル様式の建物)の案内を受け、和紙の張り子を記念品として頂戴しました。

## ●淡路夢舞台

宿泊地「花」「海」「森」と暮らすリゾート「ウェスティンホテル淡路」へ。海を望む高台にあり、国際会議場・野外劇場・植物園・遊園地等が存在し、敷地面積約12万坪の中には百段苑をはじめ複数の個性的な庭園が存在し、春夏秋冬の四季折々の花を咲かせている。夕食は海鮮料理「きとら」で瀬戸内の鯛・たこのさしみ等魚づくし料理をいただき、和やかな雰囲気、夜も更けました。

## ●明石市立天文科学館

起床後、外を見ると海も対岸の陸地も何も見えなく、雨がしとしと降っておりましたが、朝食後は曇り空となり、明石市の東経135度日本標準時子午線の真上に建つ天文科学館へ向かう。到着後早速、星と音楽のプラネタリウムの天文ホールに案内され、夕焼けから朝焼けの夜空を50分間見ることが出来、日本の子午線・天文・天体観測・暦と時の説明を受け、宇宙へのロマンを感じました。

## ●明石魚の棚商店街

丁度昼時になり、商店街入り口「喜楽食堂」でたこ尽くしの昼食を頂く。女性軍の数人は別腹として、名物明石焼きを食べられたとか、ご立派です。商店街は全長350mのアーケード下に約100店舗で、特産の魚貝類・練り製品・乾物を扱う店が多く、明石焼きの店も点在していました。

## ●新装なった姫路城

今回の旅の最後、平成の修理が完成したばかりの世界文化遺産・国宝姫路城に向け移動しましたが、昼食後でもありバスの心地よい振動と、ガイドさんの美声による姫路城の歴史を聞きながら、居眠りをしてしまい、気がつくとも目の前に姫路城が現れていました。

到着後、県庁担当者の案内で城内に向かったところ、大天守に昇るのは30分待ちとのことで、大天守行きと本丸(二の丸・西の丸)行きの二班に分かれて、見学する。

美しさの象徴である漆喰壁は外部に現れたすべての表面を漆喰で仕上げる「白漆喰塗籠造」という工法が用いられたそうです。本当に白亜の白鷺城に感嘆しました。

旅の別れはJR姫路駅で、この二日間全員楽しく・無事故・元気に過ごせましたことを、感謝致します。

最後になりましたが、県・市関係者及び幹事の皆様には大変お世話になり、有り難う御座いました。

石川直之(県人会会員)



舞子公園「孫文記念館(移情閣)」



淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」



グランドオープンした世界文化遺産「姫路城」